

令和6年度 中央区地域活性化支援事業「みんなで創る中央区づくり」

団体名：フェスのまち蘇我実行委員会

<事業報告>

2025年1月28日(火)

音楽フェス（ROCK IN JAPAN FESTIVAL）の主催者と連携し、フェスを活用した地域コミュニティづくりの見本となる事を目的として、実行委員会を3つの部会に分けて、具体的に活動。

1) 体験ツアー部会・・・蘇我スポーツ公園で行われているフェスを体験。
フェスへのファンづくり。蘇我の街への愛着心。

2) 環境整備部会・・・ 実行委員会取組みの認知度UP

3) 地域連携部会・・・ 地元の自治会との連携や協力体制構築。

当該年度の目標/対象地域

対象地域：蘇我中学校区を対象に活動

（約24,000世帯 50,000人）

年度目標：

- ・地元開催のロックフェスのファンを増やす。
- ・「おらが町のイベント」という意識を醸成する。
- ・活動を通して、地元連携、人材の発掘や育成。

1. 実施概要

実施日	実施場所	実施内容	対象者数
8/3～ 12	蘇我スポーツ 公園	ロックインジャパンフェスの体験ツアー実施（ 8/3.4.10.11.12の5日間）	400名
7/27.2 8	今井公園	今井盆踊りに、実行委員会が「盛り上げ隊」とし て協力。	約100名
10/12	今井神社	今井神社の祭礼に、実行委員会が「盛り上げ 隊」第2弾として協力。	約100名
11/9.1 0	蘇我コミュニ ティセンター	蘇我コミュニティ祭りで、実行委員会の模擬店（ ポテト、揚げたこ焼き等）で、認知度UP。	約400名

2. 事業活動の振り返り

①体験ツアー一部会

ポイント：地域の方にフェスを体験頂き、蘇我のまちに愛着を持ってもらうツアー
実行委員会だけでなく、学生のボランティアを募り、体験ガイドの体制を構築。
募集は、蘇我中学校区の小学校と連携して、すぐーるで体験ツアーを募集。



実行委員会用



学生ボランティア用

●体験ツアー実施日時

8/3・8/4・8/10・8/11・8/12 16時00分～
(所要時間 2 時間)

●体験ツアー実施実績

応募総数 **1029名** (成人556名 未成年473名)

当選者数 **395名** (成人209名 未成年186名)

●実行委員24名/学生ボランティアガイド30名

2. 事業活動の振り返り

①体験ツアー一部会-2

学生ガイドによる体験ツアー



1回、約12家族にガイドツアー

『ぼうけんノート』
子ども向けに楽しくわかりやすく体験
ツアーができるよう学生ボランティア
ガイドが作製しました！ 広げると裏
面は会場地図になる優れもの。参加
して下さったみなさんへフェスの魅力
を精一杯お伝えしました！！



広報活動

＜取材新聞社＞・千葉日報
・読売新聞・ちいき新聞の3社



神谷市長も
来訪



2. 事業活動の振り返り ①体験ツアー一部会-3

＜参加者アンケートより＞

このような機会があって嬉しいです。家から近い所での開催という事で、毎年気になっている人は多いと思います。ここで生活する 子ども達にも受け継がれるフェスになればいいと思います

元々蘇我についてよく知らなかったため、体験ツアーで印象の変化というより新しいことを多く知りました。フェスの期間にここまで地域に配慮された体制をとっているとは知りませんでしたし、そもそもこのような地域の企画を行っているということが、蘇我を大切にしている方が多いと感じました

ボランティアメンバーの生き生きした姿を見て、蘇我を盛り上げたいと思う若者が自分以外にこんなに多かったのかと驚いた。スーツケースを持って他県からフェスのために蘇我まで来てくれる人々もいることにも驚いたので、ぜひ蘇我に住んでいる人達に知ってほしいと思った

フェスの開催中、歩行者が多く駅周辺とても混みます。地域で盛り上がりつつ、安全に運営されることを願っています

2. 事業活動の振り返り ②環境整備部会

ポイント：蘇我コミュニティセンター、宮崎公民館等のPR展示で、実行委員会の認知度UP
蘇我駅から会場までの導線の環境整備（例：Welcomeボード、フラッグ等）



蘇我コミュニティセンターでは、歴代のポスターを取り寄せ、特別展示にして頂きました。その横に、実行委員会のアピール展示。



フェスのまち蘇我実行委員会 をご紹介！

Q フェスのまち蘇我実行委員会ってどんな委員会？
A 蘇我スポーツ公園でのロックフェスを誘って、地域づくり、人づくりにつながる取り組みを行なうために、有志が集まり、立ちあげた委員会です。

Q どんなことをしているの？
A 野外ロックフェスの開催に併せて、近隣住民を対象に「体験ツアー」を開催したり、地域のお祭りなど地域活動に取り組んでいます。

Q どんなひとが活動しているの？
A 20代から60代まで、蘇我エリア在住のメンバーと、学生ボランティアと一緒に活動しています。

活動報告 JAPAN JAM 2024 体験ツアー感想

40代女性
ツアーの方が最後まで気を遣ってくださり快適に最後まで楽しめました。次も他の方が楽しめるようにツアーを継続していただけるといいなーと思いました。ありがとうございました。^o^

40代男性
今回のような短時間体験できる機会があればずっと思っていたので、理想的な体験ができました。有料でもぜひ参加したい。

30代女性
今までライブに行ったことがなかったのですが全力で楽しむことが出来ました。ぜひまた行きたいなと思いました。

その他に「環境整備」や「地元地域連携」など、このまちの地域活動については、今後の取り組みにご期待ください！

2. 事業活動の振り返り

③地域連携部会

ポイント：地域の方とフェス参加者に向けた歓迎隊等の取組み。
地域のお祭りなど、実行委員会による盛り上げ隊として協力。

自治会長を招待

地元の自治会長5名を招待
実行委員会の認知を上げる。



今井盆踊り「盛り上げ隊」

フェスの来場導線今井地区で
盛り上げ隊としてお祭りに協力



蘇我コミュニティ祭「模擬店」



2. 事業活動の振り返り <広報活動>

ポイント： 町内会の会報誌に掲載協力
蘇我中学校区の小学校への協力依頼（すぐーる）
ホームページ立ち上げ、SNSでの発信。



←ホームページ、インスタで適宜発信

蘇我町内会の会報誌に掲載↓



2. 事業活動の振り返り <成果・課題と今後について>

●当初計画より上回った

- ①体験ツアーの活動について、新聞社への取材依頼や、神谷市長の来訪（SNSに投稿）を積極的に実施出来た。
- ②学生ボランティアが、ガイドツアーの活動を通して、参加する地域の住民との関わりなど、人材育成の場としての取り組む事が出来た。

●当初計画より下回った

- ①蘇我駅から会場までの導線の環境整備
→導線のフラッグ設置については、JFEさんとの兼ね合いや、ロッキングオンジャパンとの協議継続中のため、次年度での実施で検討中。
- ②地域の商店会へのMAP展開、地域清掃や商店会との歓迎協力
→商店会との関わりが出来なかった。地域清掃など歓迎体制については、別途検討の上で次年度での取組みを行う。

今後

- ・事業計画に沿って活動は出来たが、発足間もなく実行委員会の認知度は低い。
- ・認知度UPと併せて、蘇我駅から蘇我スポーツ公園までの導線企画などに取組みにより、地元自治会など、地域づくりの活動をもっと広く伝えていく事が課題。

3. 今後の事業展開と団体の活性化について

事業展開

- 学生ボランティアを組織化し、蘇我の街の愛着心から人材育成の場へ
- 地元の企業との関わりを深めるため、JFE等 6 社協議会にも加わる
- 主催者と連携して、体験ツアー実施から、地元のイベントが融合が出来る、おらが街の企画を検討。

活性化

- 「未来創造」部門として、新規のイベントや企画など運営体制の確立
- 補助金だけでなく、我々自身が収益を上げられる仕組みを検討。
- 次年度は、NPO法人化へ向けて、本団体が永続的な活動へ前進

スローガンは「子どもも大人も、ワクワクすること」「楽しいことに挑戦できる！生き生きと生活ができる！」として、実行委員会は様々な活動に取り組みます。

「蘇我」……「我、蘇り」

このまちに来てみんな元気に。

このまちのコミュニティも人も元気に。

以上

ご清聴ありがとうございました